

衆議院神奈川第6区での野党共闘・市民連合

ロックの会通信

= 2018年 盛夏号 =

発行：かながわロックの会

共同代表

・前田 康雄

kanagawa.rokku@gmail.com

・須藤 富男

☎ 090-2634-5976

安倍9条改憲の国会発議を許すな！ 各地の3000万署名宣伝行動に参加 = 駅前で「ロックの会」の旗なびく =

「かながわロックの会」は4月22日の午後16時より星川駅前にて、ノボリ旗を掲げてロックの会で作った憲法パンフを配布して憲法9条改憲を許さない3000万署名の宣伝行動を実施し、総勢13名が参加しました。パンフやチラシの受け取りも良く宣伝は大成功でした。

5月19日には桜木町駅前にて毎月恒例となっているユナイト主催の宣伝行動に、「ロックの会」から4名が参加しました。この宣伝行動には立憲民主党と共産党がマイクを握り、安倍政権が強行採決を狙う「働き方改革・一括法案」の廃案を力強く訴え、野党共闘の結束を示しました。その後、県内の市民活動家がそれぞれに歌などのパフォーマンスを行いながら、3000万署名を集めました。



星川駅前（区役所側）での宣伝行動にて

また、5月26日の午後には鶴ヶ峰駅前「憲法を暮らしに活かす旭区の会」が主催する3000万署名の大宣伝行動に、総勢30名を超える市民が参加者して駅前の3カ所で署名を集めました。「ロックの会」は商店街一角の横浜信金前を担当して宣伝行動しました。

9条改憲NO!の3000万署名は全国の集計により、現時点では目標数の約半分、1500万人分近くまで集約されていますが、引き続き目標達成まで継続することになります。

野党共闘を支える沢山の市民運動の力で安倍政権を退陣に追い込み、国際平和の理想を高く掲げ、立憲主義が貫かれている日本国憲法を守り抜きましょう。



各政党の旗を掲げたユナイト主催の宣伝行動

「かながわロックの会」 = 私たちの3つの目標 =

- 1、日本が海外で他国軍のために武力を行使することを可能にした「安保関連法」の廃止
- 2、個人の権利や自由を保障する民主主義や権力の横暴を抑える立憲主義の実現
- 3、安心して暮らせる神奈川を目指した政治・社会の実現

■ facebook ページ参照：<https://www.facebook.com/kanagawaRokku/>
賛同人募集中！ 表題記載の共同代表（前田または須藤）までご連絡ください！

**市民活動と社民党をつなぎ
「護憲」の理念を訴えます
～今こそ、憲法を政治に生かすとき～
社会民主党神奈川県連合 森英夫**

「ロックの会」の皆様、いつもお世話になっております社会民主党神奈川県連合の森英夫です。市民と野党の共闘を進める皆様の活動は、現在の政治・社会状況を変えるために必要であり、私も一人の市民として社民党の一員として、一緒に協力して取り組んでいきたいと思っています。

社民党の政策は前身の社会党時代から変わらず「護憲」を掲げています。憲法を守り生かす政治が今こそ求められているのではないのでしょうか？安倍政権が憲法違反の「戦争法」を押し通し、「戦争のできる国づくり」を進めるために市民を黙らせる「共謀罪」をつくり、生存権を脅かす福祉や年金の切り下げが行われ、今また労働者の時間と健康を奪う「過労死推進法」を労働界がこぞって反対する中、会期延長国会の末に強行採決しました。

憲法理念を生かし実行させよう！

今私たちが必要としていることは、憲法を変えることではありません。憲法理念を実際の政治に生かして実行していくことです。戦争法でなく、憲法9条を生かしていかなる戦争にも反対して協力しないことを鮮明にすること。市民を監視する共謀罪ではなく、政府にとって都合の悪い情報でも市民に公開していくこと。自己責任ではなく、社会全体で命と健康を守っていくこと。長時間労働ではなく、健康的な労働で自由な時間を持てること。政治は国家や企業のためものではありません。政治を市民に取り戻すために声を上げていかななくてはなりません。

頑固に平和、元気に福祉を訴える

憲法を変えたがっている安倍さんに真っ向から対抗するのが、社民党の「護憲」の訴えだと思います。憲法については野党の中でも様々な考え方があるのは理解しています。社民党はそれでも「頑固に平和、元気に福祉、平和憲法を守ろう！」と訴えていきます。

私は横浜市中区で医療福祉の仕事をしなが、駅頭で市民の皆様に政策を訴える活動をしています。また「ロックの会」をはじめとして各地の市民活動の場でもお話しさせて頂いています。地域・市民活動・社民党をつないでいけるような活動をしていきますので、今後ともよろしくお願いたします。

**かながわロックの会
大池公園（旭区）にて
バーベキュー交流会を開催！**



7月15日（日）の午後2時より旭区万騎が原にある大池公園にて、「ロックの会」に集う賛同者の親睦を深めるためのバーベキュー交流会を開きました。

会場準備が整うと早速ビールで乾杯して喉を潤し、バーベキューで空腹を満たしながら、自己紹介などで交流開始。旭区に在住の「生活と健康を守る会」会員の男性は、自分の母親が現在、生存権裁判の原告として闘っていることを自己紹介の中で話し、錦織さんの話す福島原発かながわ訴訟の訴えを聞いて、自分も横浜地裁での原発訴訟（7月19日）を傍聴してみたいと感想を述べていました。

また、長野富喜子さんによる歌唱指導で楽しく合唱していると、興味を持った隣の広場からも飛び入り参加する人も出て、みんなで「手のひらを太陽に」などを歌い、大いに盛り上がりました。

当日は炎天下の猛暑となりましたが、食べ物の買い出しから後かたづけまで約5時間かけ、参加者が互いに協力し合いながら奮闘し、バーベキュー交流会を成功させることができました。

「ロックの会」は昨年の4月に結成されてから、すでに2年目の活動に入っています。今後も多くの賛同者の支援と協力のもと、野党共闘をより確かなものにして政権交代を実現させる力を築いて行きましょう。

<ロックの会・事務局紹介>

◎松原博（新護憲神奈川連合代表）

村山富市政権の日米安保容認・自衛隊承認の姿勢に反発して、9条護憲の闘いを進める目的で新護憲神奈川を立ち上げました。

ロックの会にも参加協力しています。